

もくじ

曾於市地図	4
歴史・文化	6
自然・レジャー	12
道の駅・特産品	16
湯ったり	22
アクセス	24
統計情報	26
お問い合わせ一覧	28
索引	30

曾於市へようこそ

Welcome to soo city

■いざ曾於市へ

曾於市は、豊かな自然、肥沃な大地、大淀川源流の澄みきったせせらぎなど大自然があふれています。

また、アウトドアに最適なキャンプ場、自然を満喫・体感できる美しい森、先人達より大切に引き継がれた貴重な文化財、曾於市の恵を存分に求め、味わうことのできる道の駅、日ごろの疲れを癒し、心身ともにリフレッシュできる温泉など、曾於市は素晴らしい自然や観光資源がいっぱいです。

■位置・地勢

本市は、北緯31度38分、東経131度01分、鹿児島県の東部を形成する大隅半島の北部に位置し、東は志布志市、南は大崎町、鹿屋市、西は霧島市、北は都城市と接し、宮崎県との県境に位置しています。

本市の北部は大淀川流域に開け、都城盆地の一角をなし、南部は菱田川流域に広がる地域となっており、全体的には起伏の多い台地となっています。

都城盆地の一角には、太平洋に注ぐ大淀川の源流が流れ、末吉市街地、財部市街地を形成。南部地域には、志布志湾に注ぐ菱田川が流れ、大隅市街地が形成されています。



平成17年10月5日制定

■市章

緑豊かなまち、咲き誇る美しい花々、豊富な実り、曾於市の風景をそのままに「そ」をモチーフに花の形でデザインし、曾於市民が地域の中で協働・共生し融和を育むとともに『豊かな自然の中で生命の鼓動を感じるまち』として発展していく姿をあらわしています。

■沿革

曾於市は、平成17年7月1日、曾於郡末吉町、大隅町、財部町の3町が合併して誕生しました。

平成15年1月に曾於北部地区任意合併協議会が設立され、同年4月には、曾於北部合併協議会を設置。同年5月の第1回目となる合併協議から平成17年6月までの約2年間にわたって、全27回の合併協議を経て、同年7月、曾於市として新たな一歩を踏み出しました。